



政務調査会組織の再編に伴い「G空間社会実装委員会」となります

政策立案能力の向上や議論の一元化を目指した政務調査会内の組織再編に伴い、従来の「地理空間情報利活用推進特別委員会(G特)」は「科学技術・イノベーション戦略調査会G空間社会実装委員会」となりました。

今までの技術開発や利用実証の成果をもとに、これからは社会実装のフェーズとなります。関連する各部会等と連携して社会実装を進め、G空間社会の実現に向けて頑張ります。

G空間社会実装委員会

平成30年12月20日

委員長	新藤 義孝		事務総長	井上 信治	
顧問	河村 建夫 渡海 紀三朗 吉野 正芳	田中 和徳 額賀 福志郎 山口 俊一	事務局長	(参) 藤川 政人	
副委員長	金子 恭之 坂本 哲志 宮下 一郎 (参) 佐藤 信秋	北村 誠吾 土屋 品子	事務局次長	井林 辰憲 (参) 江島 潔	八木 哲也
			幹事	井野 俊郎 伊東 良孝 神田 憲次 上杉 謙太郎 (参) 井原 巧 (参) 中西 哲 (参) 和田 正宗	池田 佳隆 大見 正之 小林 鷹之 (参) 堂故 茂 (参) 長谷川 岳

準天頂衛星システム「みちびき」サービス開始（11/1）

2018年11月1日、準天頂衛星システム「みちびき」のサービスが開始され、記念式典および懇親会が都内で開催されました。式典には、安倍総理大臣、関係府省政務、経済界等から約200名が列席。懇親会には、新藤G空間社会実装委員長をはじめとする多数の議員の方々も参加し、盛大に執り行われました。式典で総理は、『「みちびき」によって、歴史の新たなページが開かれようとしています。世界初センチメートル級の衛星測位サービスが、近未来の社会を現実のものとしようとしています。』と述べるとともに「みちびき」の今後の利活用への期待と7機体制の実現への決意を表明されました。

既に「みちびき」の高精度測位情報を活用したサービスの提供が始まっています。例えば、人や物の位置情報を高精度に収集・データ化し、IoTプラットフォーム上で稼働するトラッキングサービスや、道路交通法違反の“見える化”を行うサービスの提供が開始されており、今後の更なる「みちびき」の利活用拡大が期待されます。



高校生への講演会開催（10/22・23）

静岡県牧之原市において、地元の高中生及び市関係者約1,200名を対象に「G空間社会と私たち～準天頂衛星による本格的情報化社会の到来～」と題して講演会を開催しました。

多くの生徒から種々の質問があり、また生徒からは「宇宙が我々の日常生活に深く関わっていること」「G空間社会、準天頂衛星のすばらしさ」「日本の技術のすばらしさ」等が理解でき、「今後の勉学の励みにしたい」といった感想文を頂き、大変好評でした。



G空間EXPO2018開催（11/15～17）

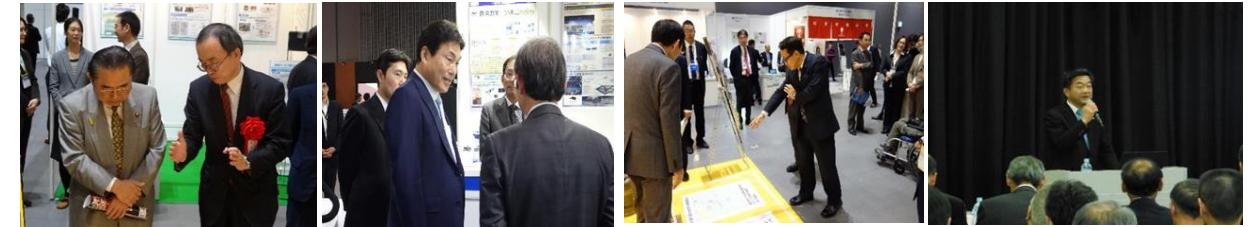
11月15日から17日の3日間、日本科学未来館（東京都江東区青海）において「G空間EXPO2018」（主催：G空間EXPO2018運営協議会）が開催されました。

「G空間EXPO」は地理空間情報の利活用推進を目的に、産学官協力のもと2010年から開催されております。今年は11月1日から本格運用開始となった準天頂衛星システム「みちびき」にちなみ、「みちびきがG空間社会へ導いてくれるよ」を年次テーマとして開催されました。

開会式では、田中英之国土交通大臣政務官の開会挨拶を川崎茂信国土地理院長が代読しました。

今回のEXPOでは、個人・団体による地理空間情報を活用した様々なアイデア・画期的な技術等について展示・プレゼンテーションする企画や、官公庁・団体・企業等による展示・講演など、様々なイベントが行われ、3日間で10,623名の来場がありました。

会期中には、田中和徳議員、藤川政人議員、江島潔議員による視察及び足立敏之議員による講演がありました。



また、このG空間EXPOの行事の一環として、(一財)衛星測位利用推進センターの主催による「SPACシンポジウム2018」が約310人の参加者の下で16日に開催され、新藤義孝委員長から「G空間のプロジェクトは、国の骨太の方針、未来投資戦略、統合イノベーション戦略等の中に明確に入っている。さらに大きな産業・基盤にしていくのが私たちの望みであり、ここに集まっている皆さんの果たす役割にもかかっている。志を大きく、夢に終わることなく現実にするまで私たちの役割は終わらない。」と挨拶されました。

講演資料等は下記URLからダウンロードできます。
<http://www.eiseisokui.or.jp/forum/symposium2018/>



第3回「G空間×ICT」QGIPシンポジウム開催（11/10）

第3回「G空間×ICT」QGIPシンポジウム（主催：(一社)九州G空間情報実践協議会）が、11月10日、中小企業大学校人吉校（熊本県人吉市）において「G空間社会の未来 熊本地震からの復興、地方創生へ実装」をテーマとして開催されました。

「G空間社会の実現に向けて」（新藤義孝委員長）、「地理空間情報の最近の取組」（坂勝浩・国土交通省 国土情報課長）、「市町村向け防災システムの構築と実装」（三谷泰浩・九大 教授）、「林業へのICT活用の意義」（寺岡行雄・鹿児島大 教授）の4名から講演があり、その後、講演者によるパネルディスカッションが行われました。

